

教護会だより

第100号

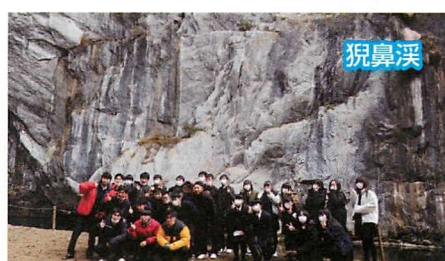
発行日 令和3年3月1日(月)
発行者 山形県立米沢工業高等学校
全日制教護会
TEL (0238) 28-7050(代表)
URL <http://www.yonezawa-th.ed.jp>
編集 全日制教護会広報委員会
印刷 株式会社 カワサキ印刷

生活様式の変化と学習や部活動の両立

世界的にコロナウイルスが猛威を振るう中、学校では全国一斉の臨時休業などこれまでに経験したことのない1年でした。6月頃から本格的な再開となりましたが多くの大会や行事が中止となりました。保護者が来校する機会もめっきり減ってしまい、子どもたちがどのような学校生活を送っているのか知りたいと思っていらっしゃる方も多いと思います。新たな生活様式の中、それでも米工生は多くの活動に取り組み、自分を成長させ、新しい歴史の1ページを築こうとしています。今回、第100号を発行するにあたり、限られた日常の中でも生徒が多くのことに取り組んだ様子をお届けし、ご支援していただいた保護者、地域、産業界の方々に感謝申し上げたいと思います。



2 学年 北東北 3 県をめぐる修学旅行へ



表紙は、北東北3県に変更となった修学旅行です。近県であっても足を運ぶ機会の少ない、岩手、青森、秋田の3県。その歴史と文化にふれて2年生は高校生活の折り返し地点に立ちました。

山形県立米沢工業高等学校では、「PTA(保護者と教職員の会)」のことを「教護会」と呼んでいます。保護者と教職員の連携のもとに、本校教育の推進と生徒の健全な育成を目指して活動を続けています。

卒業生へ 3学年担任団より



3学年主任

阿部 英敏

卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お疲れ様でした。卒業生のご多幸とご活躍を祈ります。



M類3年1組担任

桑原 健輔

卒業おめでとうございます。卒業生のご多幸と今後のご活躍を祈っております。



M類3年2組担任

藤原 一彦

卒業おめでとうございます。幸多く、愉快的な人生を送られることを祈っています。



E類3年3組担任

小関 和榮

卒業おめでとうございます。米沢工業高校で学んだことを活かしてさらなる活躍を期待します。



C類3年4組担任

芳賀 孝好

ご卒業おめでとうございます。それぞれの進路でのご活躍を祈っています。



C類3年5組担任

島 貫 隼

卒業おめでとう。物事の対比をど返しにせず、集団としての自覚、個人としての責任を意識して輝く未来を歩んでください。



生徒のエネルギーにあふれた体育祭



開祭式



成 績		
キックベース	1位	3-5
	2位	2-2
	3位	3-1,3-2
バトミントン	1位	3-2
	2位	3-5
	3位	1-5,3-4
e スポーツ	1位	3-3
	2位	3-1
	3位	2-5,2-3
多種目リレー	1位	3-4
	2位	2-3
	3位	2-1
総 合	1位	3-5
	2位	3-2
	3位	3-4

キックベース



バトミントン



多種目リレー



eスポーツ



特集 文化部・応援団・クラスからの多彩なメッセージ 米工祭

伝統文化愛好会和太鼓演奏



応援団応援披露



米工子園



吹奏楽部発表



1学年音楽選択授業発表



クラスムービー発表



9月 —September—

地区新人大会壮行式



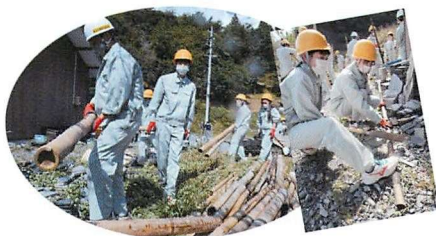
地区新人大会



やまがたイノベーションプログラム2020
※山形大学主催の起業家育成のイベント



C類石巻ボランティア



地区新人大会表彰式



10月 —October—

県新人・各種大会壮行式



C類米沢二中出前授業



中学生学校説明会



進路激励会



キャリア教育推進事業



E類勤労体験学習

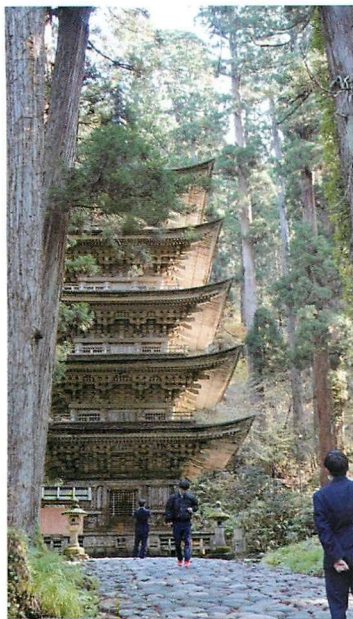


インターンシップ



11月 —November—

3学年一日HR



雪囲い作業



1年家庭科調理実習



M類1年工場見学



C類1年現場見学



E類1年工場見学



地区新人大会表彰



E類未来の産業人材キャリアサポート事業



生徒会立会演説会



修学旅行食事風景



12月 —December—

電気工事業組合交流会



UAV寄贈式



C類ドローン講習会



2学期末表彰



C類未来の産業人材キャリアサポート事業



クリスマスコンサート



1月 —January—

M類課題研究発表会



E類課題研究発表会



C類課題研究発表会



全校発表C類減災情報発信



全校発表C類地域連携空き家調査



県総体スกีージャンプ



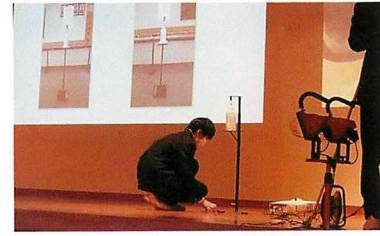
全校発表E類学校紹介動画



全校発表M類デジタル加工機

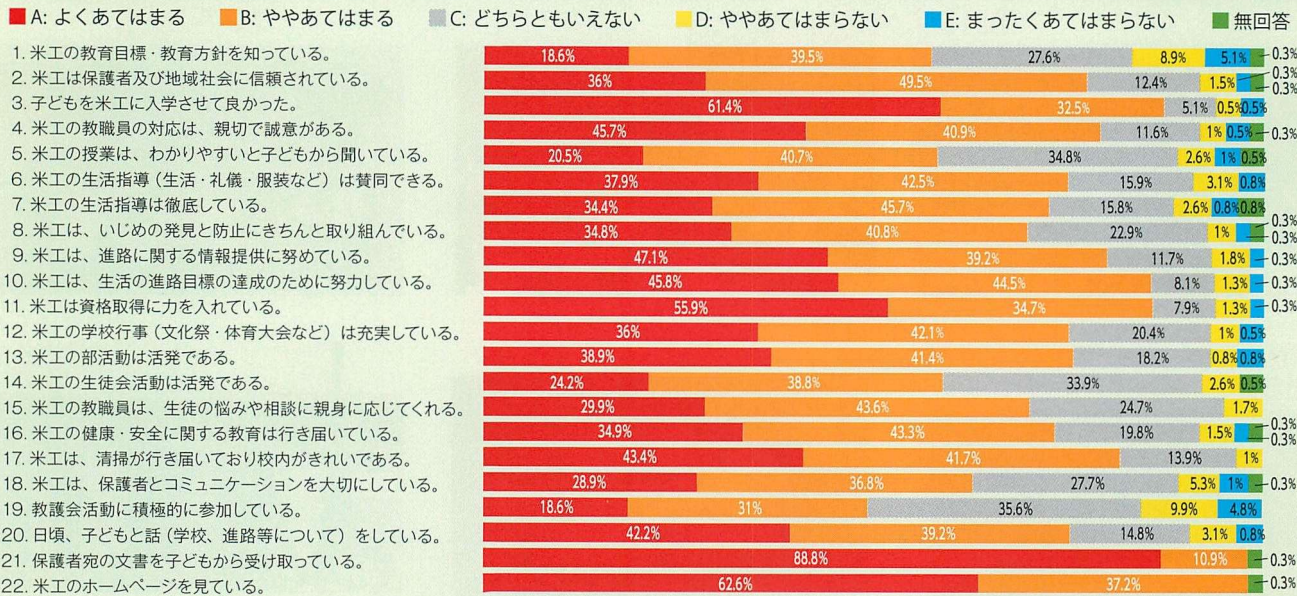


全校発表M類除菌スタンド製作



令和2年度 保護者向け学校評価アンケート結果

学校評価委員長 會田 賢一



今年度のアンケート調査は、昨年までの調査項目を一部変更して実施しました。また学校の活動と取り巻く教育環境もコロナ禍の中で一変し、単純に昨年と比較することが難しかったため、今年度の結果のみを掲載しました。

年度初めの臨時休業の影響で、新年度の開始が1月半遅れとなり、加えて教護会の行事が全般的に中止になったことによって、米工の教育目標や教育方針の周知等が困難なところもありました。グラフの数字は昨年と大差ない結果となっておりますが、今後いろいろな機会を通してこれまでのように学校と保護者、地域と密接に連携して生徒の育成にあたる必要があることがわかりました。

「米工のホームページを見ている」の項目は10ポイントほど伸びていました。日々状況が変わる中で正しい情報を得ようと努力されていることがわかりました。今後とも正確な情報を迅速にお伝えするように努めたいと思います。

来年度は「教護会活動に積極的に参加している」の項目で、よくあてはまるのポイントが大きく伸びるように、教護会としても工夫を行い、努力してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

令和2年度 進路状況

進路部長 山口 憲司

希望状況	県内就職	県外就職	公務員	縁故・自営	大学	短大	大学校	専攻科	専門学校	未定
機械生産類	36	9	1	1	5	0	2	1	20	0
電気情報類	12	8	1	0	6	0	4	1	7	0
建設環境類	23	33	4	3	6	1	0	0	8	1
3類合計	71	50	6	4	17	1	6	2	35	1

今年度の進路の就職率と進学率は就職68%、進学32%と、本校のここ数年間の就職進学割合とはほぼ同じ比率になりました。また求人状況をみますと、昨年度まで右肩上がりだった新規求人数は下降傾向に変わりました。特に飲食業や宿泊業などのサービス業関連の求人件数は、昨年に比べ半減以下という深刻な落ち込みでしたが、本校生が進路希望先として選択する製造業における求人件数の落ち込みは幸いにも15%程度（県内575件+県外1562件=合計2137件）に収まったため、リーマンショック時のような事態には至りませんでした。ちなみに、この求人件数は間違いなく県内高校の中でトップクラスです。一方、本校の今年度の来客者数は、繁忙期である7月は223件と、一日平均20件を超える来客がありました。この数字は昨年より2割程下がりましたが、相変わらず盛況だったことが伺えます。今年度は、来客の方々には本校のガイドラインに沿って対応して頂き迷惑をお掛けした点につきましてご容赦願いたいと考えています。また昨年7月、本校進路室にインターネット高速回線を新たに導入し、オンライン環境を整備しました。8月以降は県外企業、県内外のオンライン学校見学、就職試験などへ対応することができました。

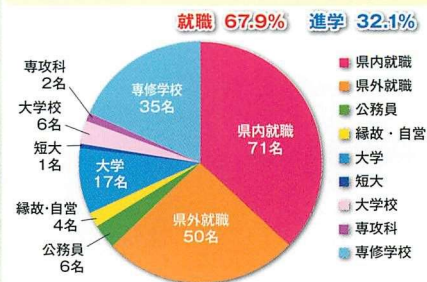
進路の内定状況ですが、1月29日現在就職の内定率は100%、進学の内定率98.4%（残り1名）となりました（在籍193名中191名が進路決定、1名未定）。生徒一人ひとりの努力と保護者の皆様方のご協力によるものだ感謝しております。

就職分野では、就職者131名中県内が71名、県外が50名、公務員が6名、縁故4名となりました。その内1回目の採用試験で不採用件数は5件（県外2件、県内3件）でした。例年ですと、1回目の採用試験が終わりますと県外企業の場合は採用者充足のため2回目の就職試験は県内企業へ切り替えることが通例ですが、継続求人する県外の企業が多数あったため、本校の生徒も2回目の就職試験は本人の希望通り県外企業に応募し、採用して頂きました。公務員は、国土交通省東北地方整備局2名、宮城県（初級土木）、高畠町（初級建築）、小国町（初級土木）、陸上自衛隊が採用されました。

進学分野は61名が合格しました。地元の山形大学工学部に1名合格することができました。また、東北芸術工科大学、東北公益文科大学2名、東北文科大学短期大学部など県内の大学や日本大学工学部、福島学院大学、長岡大学、関東学院大学、帝京大学、城西大学、開志専門職大学、ものづくり大学など県外の大学、専修学校である三友堂専門学校は2名、山形厚生看護専門学校は2名、大学校である県立産業技術短期大学校は5名、県立職業能力開発専門学校は2名、東北職業能力開発大学校、県立農林大学校へ合格しました。内定や合格した生徒達は、目まぐるしく変わる社会環境に適応し対策学習に取り組み、将来の目標意識を掲げ、進路ガイダンスや進路対策試験、模擬試験、そして該当教科の先生方へ個別指導を仰ぐなど、進路に関わる3年間のキャリア教育を経て得られた結果だと分析しています。

本校で取り組むキャリア教育は、今年度より「キャリアの時間」を定期的に授業に組み入れ、生徒自ら年間目標、学期毎の学習活動や部活動、資格取得などの自己履歴を「見える化」し、メタ認知能力の更なる向上を図っています。今のところ効果は目に見えてきませんが、来年度以降、1,2年生は自分の将来像をより具体的に明確にし、製造業をはじめとする地域産業の担い手となり得る「人材育成」を今後も積極的に推進していきたいと思っています。

令和2年 第3学年進路状況



編集後記

教護会だより第100号を発行するにあたりご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。100号という区切り目にふさわしい内容についてお祝いの記念号にすべきか迷いました。この広報誌は生徒の様子を写真など視覚的に保護者の方をはじめ広くお知らせするという目的に立ち返り、今年度の活動の様子をできるだけ多くの写真でお伝えすることにしました。

今年度はコロナ禍の中で多くの学校で大会や行事が大幅に削減されましたが、本校では2年生の修学旅行やインターンシップを無事に実施し、3年生の進路決定にあたっては例年通りの内定状況でした。日常生活が大きく制限される中で生徒達は精一杯多くの活動に取り組んできたと思います。数百年に一度ともいえるこの厳しい状況の中でも米工生は確かな歴史の1ページを築いていることを、この記念すべき100号でお届けできたものと思います。

広報委員長 河野 正志

